



いばらき「建設フォトコンテスト」 A部門 建設のある茨城の風景 テーマ 地域を支えるインフラ

入選 夏雲 (撮影地/茨城県ひたちなか市) 飯田 宗樹

### 主な内容

- ▼ 茨城県優良建設業者表彰式を開催
- ▼ 北関東3県の建設業協会が合同会議
- ▼ 羽生常任理事、松崎常任理事が国土交通大臣表彰
- ▼ 水戸支部が全建の社会貢献活動功労者表彰を受賞

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

**本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します**

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局



# 優れた34社 10名に栄誉

～チャレンジいばらき～ 第63回建設業者表彰



茨城県は7月15日、「令和3年度～チャレンジいばらき～第63回建設業者表彰式」を水戸市の県庁講堂で行いました。栄えある受賞者は知事表彰建設業者10社、知事表彰主任（監理）技術者5名、知事特別賞表彰「ICT賞」5社、知事特別賞表彰「若手・女性技術者活躍賞」5名、農林水産部長表彰建設業者4社、土木部長表彰建設業者11社、企業局長表彰建設業者4社です。まことにおめでとうございます。



優良施工を行った建設企業が表彰されました

表彰式では大井川和彦知事が、県土の基盤づくりを推進している県内建設業に対してお礼を述べるとともに受賞者を称えました。

そして県では「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、災害に強い県土づくりや、将来を見据えた「活力を生むインフラと住み続けたいくなるまち」づくりに取り組んでおり、「災害時における迅速な復旧活動をはじめ、地域のインフラ整備とその維持管理等を支える地元建設業の皆様が果たす役割は誠に大きい」と賞賛。

「その功績を称え、建設業の更なる発展に資するため、優秀な成績で工事を完成させた建設業者と技術者を表彰するとともに、知事特別表彰として、生産性の向上や担い手の確保・育成といった課題への取り組みを評価するICT賞及び若手・

## 県表彰の受賞者数

知事表彰建設業者	10社
知事表彰主任（監理）技術者	5名
知事特別賞「ICT賞」	5社
知事特別賞「若手・女性技術者活躍賞」	5名
農林水産部長表彰	4社
土木部長表彰	11社
企業局長表彰	4社

女性技術者活躍賞を授与しております」と紹介。

「受賞された皆さまは、優れた技術力により優秀な成果を収めるとともに、業界の課題への新たな取り組みに果敢にチャレンジし、他の模範となる成果をあげられた方々であり、深く敬意を表する次第です。今後とも、技術の研鑽に励まれるとともに、新たな取り組みにも積極的にチャレンジしていただき、『新しい茨城づくり』に、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます」とあいさつしました。

なお本会からは、受賞者に記念品を贈呈しました。

茨城県建設業者表彰の対象は、県内業者が令和2年度内に完成した県発注工事のうち、施工金額500万円以上の工事。

ICT賞  
若手・女性活躍賞

知事特別賞も

第63回 茨城県建設業者表彰 受賞者

知事表彰 (10社)

Table with 5 columns: 建設業者名, 代表者, 所在地, 工事名, 工事箇所. Lists 10 construction companies and their projects.

農林水産部長表彰 (4社)

Table with 5 columns: 建設業者名, 代表者, 所在地, 工事名, 工事箇所. Lists 4 construction companies and their projects.

土木部長表彰 (11社)

Table with 5 columns: 建設業者名, 代表者, 所在地, 工事名, 工事箇所. Lists 11 construction companies and their projects.

知事表彰主任 (監理) 技術者 (5名)

Table with 4 columns: 氏名, 所属建設業者名, 工事名, 工事箇所. Lists 5 technical supervisors.

知事特別賞表彰「ICT賞」建設業者 (5社)

Table with 5 columns: 建設業者名, 代表者, 所在地, 工事名, 工事箇所. Lists 5 ICT award-winning construction companies.

企業局長表彰 (4社)

Table with 5 columns: 建設業者名, 代表者, 所在地, 工事名, 工事箇所. Lists 4 award-winning company presidents.

知事特別賞表彰「若手・女性技術者活躍賞」主任 (監理) 技術者 (5名)

Table with 4 columns: 氏名, 所属建設業者名, 工事名, 工事箇所. Lists 5 technical supervisors for the youth/women award.



## 羽生常任理事、松崎常任理事が 建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰 おめでとうございます

令和3年度の建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰として、本会からは羽生義隆常任理事（銚田支部長、(株)羽生工務店代表取締役社長）、松崎里志常任理事（潮来支部長、松崎建設(株)代表取締役社長）が受賞されました。まことにおめでとうございます。更なるご活躍を祈念いたします。



### 羽生常任理事の話

「名誉ある賞を賜り大変光栄であります。石津会長をはじめ役員や諸先輩方、関係者のご指導、ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。受賞に恥じぬよう業界発展のために精進してまいります」

羽生氏は昭和30年生まれ、65歳。中央工学校を卒業後、昭和51年に羽生工務店に入社。昭和62年から代表取締役社長。

本会では平成18年から理事、平成29年から常任理事。銚田支部では平成8年から理事、平成18年から副支部長、平成29年からは支部長を務め、地域建設業の発展に尽力されています。



### 松崎常任理事の話

「栄えある受賞は、諸先輩をはじめとする関係者の皆さまのお力添えのおかげであり、感謝申し上げます。これからも業界や地域の発展に貢献し、精進してまいります」

松崎氏は昭和34年生まれ、62歳。早稲田大学卒業後、松崎建設(株)に入社。常務取締役を経て平成17年から代表取締役社長。

本会では平成26年から理事、平成30年から常任理事。潮来支部では平成26年から理事、平成28年から副支部長、平成30年から支部長を務め、地域建設業の振興に寄与されています。

## 水戸支部が全建功労者表彰 鳥インフルエンザ防疫に尽力

水戸支部（下田德行支部長）は7月13日、全国建設業協会（全建）の令和3年度建設業社会貢献活動推進月間中央行事において、本年2月に実施した鳥インフルエンザ防疫活動について功労者表彰を受賞しました。

本年2月に高病原性鳥インフルエンザが県内で15年ぶりに感染確認され、水戸支部は初動から防疫活動に従事。感染が確認された2月2日から2月12日まで活動を行いました。

他の支部も応援に駆け付け、最終的には水戸支



代表して下田支部長が表彰状を受け取りました

部を中心に延べ1,900人以上が活動に携わりました。

表彰について下田支部長は「皆で集まり、よくやってくれました。今後も地域貢献に努めていきたい」と話しています。

# 直轄工事への新規参入促進を

茨城、栃木、群馬 北関東3県建設業協会合同会議

第40回茨城・栃木・群馬3県建設業協会合同会議が7月29日、宇都宮市のホテル東日本宇都宮で開かれました。本会からは直轄工事への新規参入を広げる施策として常連と新規参入との特定JVによる入札参加を提唱しましたほか、建設業による教育支援活動について提案し、他県協会の取り組みを聞くなど意見を交換。北関東の3県が一致団結し、直面する課題を克服できるよう切磋琢磨することを誓い合いました。



北関東3県が意見を交換しました

あいさつで本会の石津健光会長は「豚熱や鳥インフルエンザが発生し、各地の会員企業が尽力した。働き方改革に取り組むとともに、地域の守り手の社会的使命を果たしていく。3県協会が抱える課題解決の糸口を見つけない」と述べました。

なお次回の開催県は茨城県に決まりました。

## 議題と意見交換の内容

### 【広報戦略】（栃木県提案）

栃木県では昨年度、PRビデオを制作し、YouTubeや地元テレビ局で「地域の守り手 建設業」のキャッチフレーズを放映。地元一般紙の見開き広告「建設業進化論」掲載やポスター化で配付。多岐にわたる広報戦略を展開してきた。

茨城県では建設フォトコンテスト、親子現場見学会、合同企業説明会の開催、建設業就職応援サイトへの登録などを進めている。

### 【生産性向上への対応】（栃木県提案）

栃木県では小規模工事が多く、全工程をICT施工するには費用や手間の面で課題が多い。ICT機器は高額であり、導入は厳しい。

### 【エッセンシャルワーカーの認定】（群馬県提案）



石津茨城県会長 谷黒栃木県会長 青柳群馬県会長

群馬県では建設業従事者のエッセンシャルワーカー追加認定を勝ち取った。地方建設業にとって画期的なこと。災害対策や公共事業の円滑な執行には認定が必要になる。

### 【CCUSの普及】（群馬県提案）

群馬県内のCCUSへの加入は、会員企業の4割程度。茨城県では今秋からCCUSモデル工事が導入されるのに伴い、協会本部に認定登録機関の窓口を設置する準備を進めている。

### 【直轄工事への新規参入】（茨城県提案）

茨城県内の有資格者一般土木B～Cランクのうち、受注企業は2割程度。すそ野を広げるには常連と新規参入との特定JVによる入札参加を提唱したい。特定JVで経験を重ね、単独応札できる仕組みが必要である。

### 【教育支援活動】（茨城県提案）

次世代を担う人材確保が喫緊の課題となる中、昨年度に業界と教育現場のアンケート調査を実施。現場実習を強化したほか、幅広い年齢層に建設業の魅力を発信する「いばらき建設図鑑」（仮称）の製作に着手した。

## 意見交換会のテーマ協議

建築委員会を開催



本会の建築委員会（沢畑正剛委員長）が7月7日に水戸市の茨城県建設会館で開かれ、茨城県土木部建築3課との意見交換のテーマとして県の入札参加資格の基準や総合評価方式、設計図などについて提案・要望することなどを協議しました。沢畑委員長は「皆さんからご意見をいただき、有意義な委員会活動に」とあいさつしました。

## 高校生の合格後押し

2級土木施工管理 1次受験対策講習



本会は若年者の建設業への入職促進に向け、県立水戸工業高校の土木科2年生を対象とした2級土木施工管理技術検定の第1次検定（後期）試験の受験対策講習会を7月8日から始めました。9月16日まで5回にわたり、施工計画や土木一般、専門土木、共通工学などについて、講師を務める(株)創成マネジメント（横浜市）から説明してもらい、合格を後押しします。

## 女性同士の親睦深める

建女ひばり会が会員交流会



水戸支部の交流会参加者

本会の女性部会「建女ひばり会」（柳瀬香織会長）の会員交流会が始まりました。7月14日には水戸支部の交流会を開催。石津健光会長と下田德行副会長兼水戸支部長も出席し、懇談を通じて親睦を深めました。柳瀬会長は「さまざまな活動を通じて成長することを目指していく」とあいさつしました。交流会は各支部ごとに開催します。

## 建設業経営者研修会

### 動画チャンネル立ち上げ

本会と茨城県土木部監理課は、動画サイトYouTubeに「茨城県建設業経営者研修会チャンネル」を立ち上げ、本年度の建設業経営者研修会を県監理課建設業担当ホームページでWEB開催しています。

チャンネルでは許可申請および経営事項審査の改正点など14テーマをナレーターがスライドで説明。今後はチャンネルを活用し建設業のトピックや建設事業者に役立つ情報も発信していきます。

研修会は例年、県内5会場で開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、より多くの方が安心して参加できる仕組みを検討。YouTubeチャンネルを開設しました。経審改正点の説明動画では、CPD認定団体の一覧表やW点の計算式などをスライドで紹介しています。



# 支部活動報告

## 太田支部



### 常陸太田工事と意見交換

太田支部（瀬谷實支部長）では7月19日、茨城県常陸太田工事事務所（木村政美所長）との意見交換会と研修会を開催。完全週休2日制促進工事やDX（デジタル・トランスフォーメーション）などについて話し合いました。

## 高萩支部



### 高萩工事と意見交換

高萩支部（秋山光伯支部長）は7月8日、茨城県高萩工事事務所（佐竹義人所長）との意見交換会を開催。担い手の確保や円滑な執行に向け、完全週休2日制促進工事、快適トイレ普及促進工事、墜落制止器具などを議題に意見交換しました。

## 太田支部



### 献血に協力、社会へ貢献

太田支部（瀬谷實支部長）では7月7日、常陸太田市建設防災協議会（小林啓繁会長）と共に常陸太田市合同庁舎で献血活動を実施。108人が参加しました。献血活動は太田支部は平成26年度から継続して行っています。

## 土浦支部



### 安全管理講習会開く

土浦支部（小林伸行支部長）は7月14日、茨城県土浦土木事務所と建設現場の安全管理講習会をウェブ方式で開催。熱中症対策や労働災害防止について研修しました。講習は現場の安全管理意識を一層高めることを趣旨に開催しました。

## 大子支部



### アート作品展示を支援

大子支部（大藤博文支部長）は6月28日、地域活性化の文化活動を支援するため、水郡線の駅舎にアート作品を設置するアーティスト3人に寄付金を贈呈しました。大藤支部長は「演出によって多くの方が来訪してくれば」と話しています。

## 境支部



### 境工事と意見交換

境支部（新井孝支部長）は7月19日、茨城県境工事事務所（野島泰久所長）との意見交換会を同事務所で開催。本格化していくインフラ分野のデジタルトランスフォーメーション（DX）への取り組みを中心に活発な意見を交わしました。

## 県、遠隔臨場を試行導入

県は、建設現場における遠隔臨場を令和3年8月から試行導入しました。インフラ分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、臨場に係る移動時間の削減や立ち合いの調整時間の削減を図り、建設現場の働き方改革、生産性向上に資する取り組みとして進めます。

遠隔臨場は、ウェアラブルカメラ等による映像と音声の双方向通信を使用して「段階確認」「材料確認」「立ち合い」を行うもの。

導入効果として受注者は段階確認の待ち時間の短縮、発注者は移動時間の削減などがあります。新型コロナウイルス感染症対策としても期待されます。

県では今年度、発注者指定型として事務所ごとに3件以上を目標に実施します。

## 県土木部が電子契約を導入

県土木部は、発注する建設工事及び建設コンサルタント業務で、令和3年7月1日以降に入札公告または指名通知等を行う案件から段階的に電子契約を導入しました。

工事については、土木一式でS・Aランク対象工事（予定価格3,000万円以上）の案件から順次導入します。詳細は入札説明書等に記載されます。

電子契約の導入により、契約事務の時間（印刷、製本、郵送、押印等の作業が不要）が削減でき、費用（郵送代、封筒代が不要）、契約締結までの時間（郵送に要する時間が不要）を削減することができます。

なお、書面での契約を行うか電子契約を行うかは選択することができます。

詳細については、土木部監理課の建設業担当ホームページに掲載しています。

## 県内業者に受注機会を

### 県土木部が国へ要望

県土木部（仙波義正部長）は7月13日、国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所（日下部隆昭所長）に国直轄工事における県内建設業者



仙波土木部長（左）が要望書を手渡しました

の受注機会等の確保について要望書を提出しました。要請事項は①県内に本店を有する建設業者への優先的な発注②災害復旧工事に係る地域JVの導入一などです。

## いばらき建設フォトコンテスト作品募集

本会は「いばらき『建設フォトコンテスト』」の作品を募集しています。建設現場で撮影した写真も対象となりますので、積極的な出品をお待ちしています。

【A部門】建設のある茨城の風景

【B部門】人と建設のつながり

【募集期間】9月30日まで

【問合せ先】フォトコンテスト係

電話029-221-5126

## 会員の動向

### 〈代表者変更〉

▽高萩支部

日興建設(株) 菊池 節 → 安 勝彦

### 〈住所変更〉

▽水戸支部

和多屋建設工業(株) 水戸市鯉淵町883→

笠間市安居 1465-3